



令和7年(2025年)7月11日
葉山中通信 第5号

＜学校教育目標＞
自ら学び、心豊かで
たくましく生きる生徒の育成

「生命の尊重」を実践する学校 時を守り、場を清め、礼を正す生徒 主体的に学ぶ力を身につけた生徒

合唱コンクール

歌声はどこまでも!!



先日「さくら」で行われた合唱コンクールでは、多くの保護者の方が参観いただきありがとうございました。「共通の話題」があると人と人はつながりやすいものです。子どもたちとの共通の話題を得る機会に今回の合唱コンクールになったようであれば幸いです。

音は空気の振動により伝わります。でも「歌声」は単なる音ではなく「気持ち」も運んでくれたように感じたのは私だけでしょうか。そんな「歌声」は心も揺り動かし、私たちに「感動」という贈り物をくれたように思います。生徒の皆さん、あなたはこの人を動かす「パワー」を次は何に使いますか。

夏休みとともに部活動の夏季大会も始まります。

夏休みとともに部活動の夏季大会も始まります。競技によってはすでに予選が始まっているところもありますが、ほとんどの種目は19日からとなります。スポーツは「がんばったから必ず結果が出る」というものではありませんが、「精一杯取り組むこと」で得られるものはあるはずです。皆さんの「精一杯」に期待します。

今後は部活動の在り方も少しずつ変わってきます。「部活動の地域展開」という話です。限られた範囲ですがクラブチームの中体連参加をはじめ、今年度も少しずつ変化があります。うまく進むとこれまで本校では「部活動がない種目」にも取り組める人が出てくるかもしれません。下の図にあるような「地域クラブ活動」がそれです。栗東市でも部活動の地域展開が始まりました。詳しくは栗東市のホームページにありますので右下の二次元コードからご確認ください。

今後、「新たに〇〇のチームが募集を開始する」などといった情報をお伝えすることが出てくるかもしれません。新たなチャレンジができるかもしれませんね。

学校部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行の全体像(イメージ)

学校部活動

指導者：当該校の教員
参加者：当該校の生徒
場所：当該校の施設

学校部活動の 地域連携

合同部活動の導入、部活動指導員等により、活動機会を確保
指導者：部活動指導員等、関係校の教員
参加者：当該校の生徒
場所：当該校の施設

- 少子化の中、持続可能な体制にする必要
- 地域の実情に応じた段階的な体制整備

地域の実情に応じ、当面は併存

休日の地域クラブ活動

○学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場としての新たな地域クラブ活動等

実施主体：地方公共団体、多様な組織・団体（総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、スポーツ協会、競技団体、民間事業者、文化・芸術団体等）

指導者：地域の指導者（教員兼職兼業含）
参加者：地域の生徒（他世代の参画を含む）
場所：学校施設、社会教育施設、民間事業者等有する施設

栗東市の「部活動地域展開」については
ココをご覧ください。



インクルーシブ教育をめざして

インクルーシブ教育とは、障害の有無やその他の多様性を問わず、すべての子供が同じ環境で共に学び合い、互いに尊重し、共生できる社会を目指す教育です。そういった教育システムの構築のため、現在は特別支援教育を発展させていくことが必要であると、文科省から報告されています。特別支援教育を推進していくことは、子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うものであり、この観点から教育を進めていくことにより、障害のある子どもにも、障害があることが周囲から認識されていないものの学習上又は生活上の困難のある子どもにも、更にはすべての子どもにとっても、良い効果をもたらすことができるものと私は考えています。

本校では平成 29 年に通級指導教室「ことばとまなびの教室」が開設され、8 年目を迎えます。これまで積み重ねてきた特別支援教育のノウハウを生かし、生徒の「困り感」に寄り添い、個々のニーズを把握し、生活や学習上の困難さを軽減し改善するための指導や支援を行っています。支援等の実施に当たっては、生徒本人や保護者と相談しながら行うようにしています。

本校の特別支援教育の状況

現在、本校では個々の状況に応じた支援を行うために各学年各学級の教室以外に次のような場所があります。

- 特別支援学級
- 通級指導教室「ことばとまなびの教室」(通称:ことまな)
- 校内教育支援センター「ほっこりルーム」
- 学習支援室「チャレンジルーム」
- 相談室(各階に配置され、計 6 か所あります。)



それぞれ状況に応じて、生徒本人や保護者と学びや支援の計画を相談しながら行っています。また、本校には特別支援コーディネーターが 2 名、通級指導教室担当が 1 名、校内教育支援センター担当が 1 名おり、必要に応じて支援の計画や実施等に関する相談に参加させていただきながら以下のような支援を進めています。

- ① 特別支援学級における学級担任からの学習指導や支援
- ② 通級指導教室における指導や支援
- ③ 校内教育支援センターにおける指導や支援
- ④ 教員や支援員による教室での付き添いによる支援
- ⑤ 教員や支援員による別室での個別(または小グループ)の支援
- ⑥ 教室での担任や教科担当による支援 など



それぞれの支援に関わる教員や支援員は、支援計画等をもとに支援や指導を進めています。また、各担当者からの情報や各ご家庭からの情報なども共有しながら進めるようにしています。



『ことばとまなびの教室』では……



例えば、学級の中には、

- ・うまく発音できない音がある
- ・つまって、うまく話し出せない
- ・相手に伝わるように話すのが苦手
- ・特定の場面で話せなくなる
- ・なかなか文字を覚えられない
- ・ノートに書くのに時間がかかる
- ・学習に集中することが難しい
- ・急な予定や場面の変更があると混乱しやすい
- ・気持ちのコントロールがしにくい
- ・友だちと関わりたいのだけれど、うまく関われない

などなど…



そこで、『ことばとまなびの教室』では、

- 発音の仕方や聞き取りの学習をしながら、話すことの楽しさを学びます。
- 「できた」という達成感が味わえるような課題に取り組み、学習への前向きな姿勢を育てるようにしていきます。
- 緊張感の高い生徒の不安材料を取り除き、安心して学校生活が送れるように支援をしていきます。
- 教師と生徒が1対1で向き合い、安心できる場を作ることで、自分の悩みや困っていることを話せるようにしていきます。
- 対人関係をスムーズに進めるためのコツ（ソーシャルスキル）を身に付けるようにしていきます。
- 友達とのトラブルが発生したときや集中力が持続しないときに、情緒の安定を図っていきます。



このようなつまづきが見られる子どもたちがいます。なかには、自分なりにがんばっているにもかかわらず、「努力が足りない」「わがまま」と思われてしまう子どもたちもいます。がんばりたいのにうまく力を発揮できず、その子自身が困っている場合が多いのです。

『ことばとまなびの教室』では、一人一人の子どもに寄り添いながら、「**自分自身のよさを生かし、自信を持って、いきいきと楽しい学校生活を送ることができるように**」を目標に、様々な形で子どもたちや保護者への支援を行っています。

ユニバーサルデザインの教室づくり・学級づくり

～誰もが使いやすい教室へ～

教室にユニバーサルデザインを取り入れることで、支援が必要な子どもだけでなく、クラスの子も達全員が過ごしやすくなります。また、予定や物の場所などを分かりやすく工夫することによって、子ども達が自分で考えて動けるようになります。

また、「失敗しても大丈夫な雰囲気をつくる」、「子ども達がありのままにいられる学級をつくる」ということも、ユニバーサルデザインの環境です。支援が必要な子も、そうでない子も、誰もが安心して過ごせる学級づくりを目指しています。



前面の掲示

教室の前面に掲示物が多く貼ってあると、視覚からの情報が多くなり、注意がそれてしまいがち。生徒の作品などは教室の後ろや廊下などに貼る、普段使わない掲示物は必要なときにだけ貼るなどすることで、教室の前面がすっきりとし、先生の話や黒板に集中しやすくなります。

1日の予定表をつくる

教室に1日の予定を掲示する場所をつくり、朝の会などで、その日の授業の内容や準備するものなどを確認します。行事や授業の変更など、いつもと違うことがある時は、それを事前に伝えておくことも大切にしています。伝えたことは、メモに残しておき、予定がわからなくなった時にいつでも見返せるようにしています。

教室の整理整頓

教室の中が雑然としていると、子ども達は落ち着きません。落ち着いて学習に向き合うためには、整理整頓された教室環境が欠かせません。

授業中に見やすくわかりやすい工夫がしやすいホワイトボードの設置

本校は令和3年～4年に大規模改修工事により、各教室の黒板がホワイトボードに代わりました。プロジェクトによる画像や動画の投影など授業の板書や教材提示の工夫がしやすいようにそれまでの黒板より1m近く長くて広いホワイトボードに変わりました。（特別教室には前面の壁いっぱいの広さのところもあります。）

学校の様子 6月～7月

6月5日に2年生は昨年のホットタイム実行委員が集めた募金を滋賀県社会福祉協議会に寄付しました。写真はその贈呈式です。

2年生募金の寄付



部活動の夏の大会と言えば、7月19日からという印象ですが、種目によってはすでに始まっています。6月10日に陸上のブロック大会があり、結果は以下の通りでした。

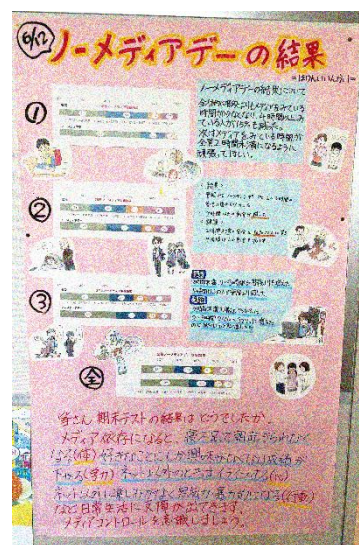
※上位入賞のみ

女子	1年 100m	3位	男子	2,3年 1500m	3位
	棒高跳び	1位		棒高跳び	1位
	走り幅跳び	2位		砲丸投げ	2位

6月12日はノーメディアデーでした。あなたはどんな頑張りができたでしょうか。

7月2日は合唱コンクールだけでなく、”おにぎり弁当の日”でした。

おにぎり弁当の日



7月9日には、1, 2年生の校外学習が行われました。1年生はオーパルで環境学習や琵琶湖でのスポーツ体験をしました。2年生は京都で大学体験と平和学習をしました。

<中体連等の夏季大会> ※基準日のみ示します。種目により多少日程が異なることがあります。

7月開催 ブロック大会 19(土)20(日)
 通信陸上大会 19(土)20(日)
 県大会 25(金)26(土)
 8月開催 近畿大会(滋賀) 5(火)～11(月)
 全国大会(九州) 17(月)～21(金)

<その他> 中部日本吹奏楽コンクール予選 7/27
 滋賀県美術部展 8/5～11

8月の予定

9(土)～17(日) 学校閉庁期間

※部活動も10～16は原則活動なしとしています。

27(水) 始業式・全学年実力テスト 1, 2年は③まで、3年は⑥まで(部停)

28(木) 全学年実力テスト 1, 2年は③まで、3年は⑥まで(部停)

29(金) 1, 2年④まで、3年⑥まで(部停)

8/2(土)

滋賀県人権教育栗東市大会
 葉山中・金勝小・治田西小で開催

夏休み期間の部活完全下校
 16:30